

第1章 挨拶 目次

1-1	野田会長	1-1
1-2	教育長祝辞	1-2

第1章 挨拶

1-1 会長挨拶

「炉端の会」創立20周年によせて

炉端の会 会長 野田 滋郎

今から20年前、平成6年、1994年8月に「炉端の会」は発足いたしました。それから20年、現在では会員数250名を数えるまでになりました。炉端の会の会員の方々は、人生経験が豊富で知性、知識、教養に溢れ、多くの才能を持ち、積極的で、人柄も良く、ボランティア精神に溢れた方ばかりで、その結果、炉端での活動に於いて充実感、躍動感、生き甲斐、やり甲斐を感じる事が出来る素晴らしい団体になりました。

「炉端の会」が古民家の囲炉裏に火を焚いていないと、まさしく「火の消えた（ような）家」です。「炉端の会」は民家園だけではなくお客様にとっても、なくてはならない存在になっています。また、入園者への積極的で親切な対応で、お客様にも満足いただけるように努力し、少しでも民家園のイメージアップと来園者の増加に努めている積もりで活動しています。

これも炉端の会会員の方々と園の職員、指定管理者の皆様の協力、努力の賜物と思えます。

また、これらの努力が認められ、名誉ある「川崎市文化賞」を受賞しました。

本年、川崎市は市制90周年でもあります。「炉端の会」も20周年という節目をお祝いすると共に、日本民家園も3年後には開園50周年を迎えることとなります。

これを機に10年後の30周年に向けて、ますます楽しくやり甲斐、生き甲斐とドキドキ、わくわくする活力のある団体として発展するよう、皆様と共に邁進して行きたいと思っております。

今後とも「炉端の会」の活動を見守っていただくと同時に、ご理解、ご支援、ご協力をよろしく願いたします。

平成26年9月

1-2 教育長祝辞

お祝いのことば

川崎市教育委員会 教育長 渡邊 直美

炉端の会が、この度、20周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

日本民家園は、25件の古民家など文化財建造物を移築公開し、日本有数の野外博物館として高い評価を受けておりますが、それも炉端の会の「古民家に息吹を灯す」活動に支えられてのこととっております。古民家を守る囲炉裏での火焚き、来園者をもてなす園内のガイド、畑や展示の整備など、炉端の会の多彩な活動が、日本民家園の大きな魅力となり、多くの方に喜んでいただいておりますことを心から感謝申し上げます。

また、これまでの活動が高く評価され、平成26年度の川崎市文化賞を受賞されたこと、重ねてお喜び申し上げます。

日本民家園は海外からも多くの方にご来園いただき、今後とも日本の文化を発信する博物館としての役割はますます広がっていくと思っております。また、地域の方々に生涯学習の場として様々に利用していただきたいとも念願しております。今後とも貴重な文化財である古民家の魅力を永く伝え、魅力あふれる民家園とするために、引き続きお力添えをいただきたく、お願い申し上げます。

20周年と川崎市文化賞受賞が新たな契機となり、さらに多岐に亘る活動が展開され、皆様方がより一層いきいきとご活躍されることを心より祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。

平成27年3月31日

